



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.67  
ナショナルトラスト運動とヴォーリス六甲山荘 / 清水 彬久  
2008年10月発行



ヴォーリス六甲山荘北面

## 第67回テーマ： ナショナルトラスト運動と ヴォーリス六甲山荘

### 講演内容

- ナショナルトラスト運動
- アメニティ2000協会の活動
- ヴォーリス六甲山荘と今後の展開

実施日：平成20年10月18日(土)  
午後1時～3時45分  
場 所：ヴォーリス六甲山荘



講師：清水 彬久さん  
プロフィール

1946年生まれ。神戸市出身。関西学院大学卒業。自然と歴史的環境の諸問題を学習する研究会「自然と歴史から学ぶ会」を発足、2000年にNPO「アメニティ2000協会」を設立し理事長に就任。歴史的建築物の保存活動を進めている。

### 六甲山上の静かな山荘を訪ねた

朝から雲ひとつない秋晴れの日となりました。今回は、国の有形文化財に登録されることが決まったばかりのヴォーリス六甲山荘に会場を移して、20名の参加者で開催しました。講演の終盤に、講師の清水さんから山荘の内部や外部のヴォーリス設計の特長を説明していただき、山荘の半日をゆっくり楽しみました。

### 筋の通ったロマンティストの清水さん

清水さんは、昭和40年から平成にかけて実業の世界に身を置かれていました。戦後、日本が物質の豊かさを得たことと引き換えに失ってきたものの大切さを見直すことに関心を注がれました。

失ったものをなんとか守ることできないかと、2000年に特定非営利活動法人アメニティ2000協会を設立され、理事長に就任されました。創立時17名だった会員は現在380名となり、着々と活動基盤を築いておられます。

2002年4月から阪神間に残る戦前の建築物の実態調査を開始し、3年間で400件の存在を確認しました。

その中から御影住吉山手の旧乾邸と、今回のヴォーリス六甲山荘の保存活動を決めました。



山荘の乗らかい灯り

### 建築物のナショナルトラスト運動

アメニティ2000協会は広く募金を集め、その基金で歴史環境を保存し、管理・運営する英国ナショナルトラスト運動の考え方を柱としています。建物を対象としたナショナルトラストとしては、日本

で最初の事例とのことです。

「しかるべきものが、しかるべきところにある」状態を保存することを強調されました。この活動を多くのボランティアが支えているのが英国ナショナルトラスト運動の特徴です。しかし日本ではまだそこまでボランティア活動が根づいていません。さらに行政の考え方や、ひいては国民性も英国とは開きがあると、清水さんは取り組んでいる課題の困難さも述べられました。

### 当会の会員も300名にしたい

清水さんは、理路整然とした信念が伝わる講演をされ、参加者が感銘を受けました。ヴォーリス六甲山荘を保存することにも「一人ひとりの志を募る」ことが380名の会員の方々に共感されたのだと思いました。

当会の活動期間は同じでも、会員数が半分にも達しません。われわれも共感者を募って会員数を300名にしたいと、大きな刺激をいただきました。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

### 参加の感想 山下昌子さん

ヴォーリス六甲山荘について、概略は以前から知っていましたが、六甲山のどの辺りに建設されているのかはセミナーに参加するまで知りませんでした。

制約が多い日本のナショナルトラスト運動の地道な活動の話や講師の清水さんから拝聴しながら、歴史的な建設物を育てている六甲の自然も満喫できました。また、セミナーを通して多くの方に出会ってお話できたことも楽しかったです。



山下昌子さん

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、灘区役所

公益信託自然保護ボランティアファンド、

公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド